

# MTDLPアプリケーションVer\_1.0 概要説明書

2018/07/28

一般社団法人 日本作業療法士協会  
- MTDLP士会連携室 -

# はじめの作業

- 各シートの作成の前に、作業療法士（セラピスト）の登録と対象者（クライアント）の登録が必要となります

## Management Tool For Daily Life Performance

Therapist ID を入力し、ログインしてください

ログイン

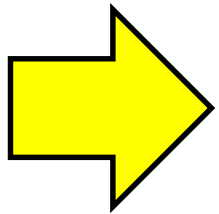
各登録はこちらから

新規作業療法士の登録

新規クライアント登録

MTDLP  
データベースソリューション

アプリケーションを終了する



# 1. 作業療法士の登録

Management Tool for Daily Life Performance \_ into a database

— 作業療法士の登録画面 —



選択したセラピストを削除する

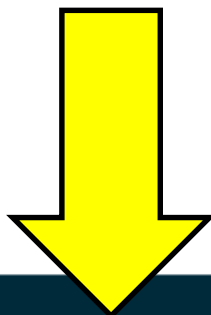
日本作業療法士会 協会番号

所属都道府県  市町村  所属領域

MTDLP基礎研修終了  MTDLP実践者研修終了  MTDLP指導者

指導者 指導者 特に目指していない  
取得を目指している 認定作業療法士

各項目を入力します (※セラピストIDとは日本作業療法士協会会員番号を想定)



新規クライアント登録にすすみます



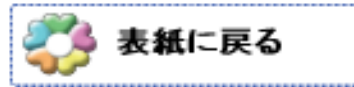
続けて、新規クライアント登録へすすむ

## 2. クライアント登録

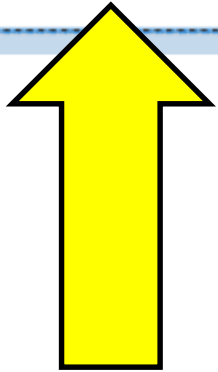
Management Tool for Daily Life Performance \_ into a database

### —クライアントとその担当者の登録画面—

クライアントIDを新規に入力し、担当する作業療法士番号を選択してください



クライアントID	担当する 作業療法士の番号	メモ	
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	2018/05/26 10:01:49



登録後、作業療法士の番号はリストから選択することができます。

**IDは5桁以上の数字を設定してください**

クライアントIDを登録したら、右のボタンで各シートの作成へすすんでください



各シート作成へ

# 3. クライアント登録

Management Tool for Daily Life Performance \_ into a database

## —クライアントとその担当者の登録画面—

クライアントIDを新規に入力し、担当する作業療法士番号を選択してください



表紙に戻る

選択して削除する

クライアントID

担当する

作業療法士の番号

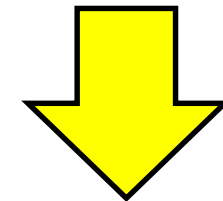
メモ

2018/05/26 10:01:49

作業療法士の番号（協会番号）

+

クライアントID の 登録後に進む



クライアントIDを登録したら、右のボタンで各シートの作成へすすんでください



各シート作成へ

# 4. 各シートのセットアップ

※手順を厳守

Management Tool for Daily Life Performance \_ into a database

生活行為向上マネジメントシートの  
各シートを作成する画面です

3



表紙に戻る

やりなおす

ステップ1  
対象者のIDを入力する

対象者のID を入力する →

担当する作業療法士は

備考・メモ

ステップ2  
シート作成ボタンを押して、  
シートを作成

シート作成

2

表紙に戻って、  
セラピストIDを入力し、ログインすると、各  
シート作成が可能となります

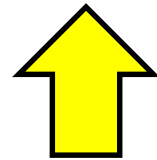
すでに各シートが作成されている場合は  
下に作成日が記載されます」

登録ID	作成日
<input type="text"/>	

# 5. ログイン

## Management Tool For Daily Life Performance

Therapist ID を入力し、ログインしてください



登録したセラピストIDを入力する

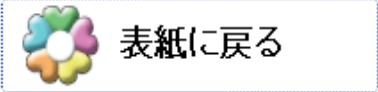
各登録はこちらから

MTDLP  
データベースソリューション

アプリケーションを終了する

# 6. ログイン

Management Tool for Daily Life Performance \_ into a database



クライアントIDを確認し、総合画面ボタンを押して、各シート作成画面へすすんでください

選択したクライアントを削除する

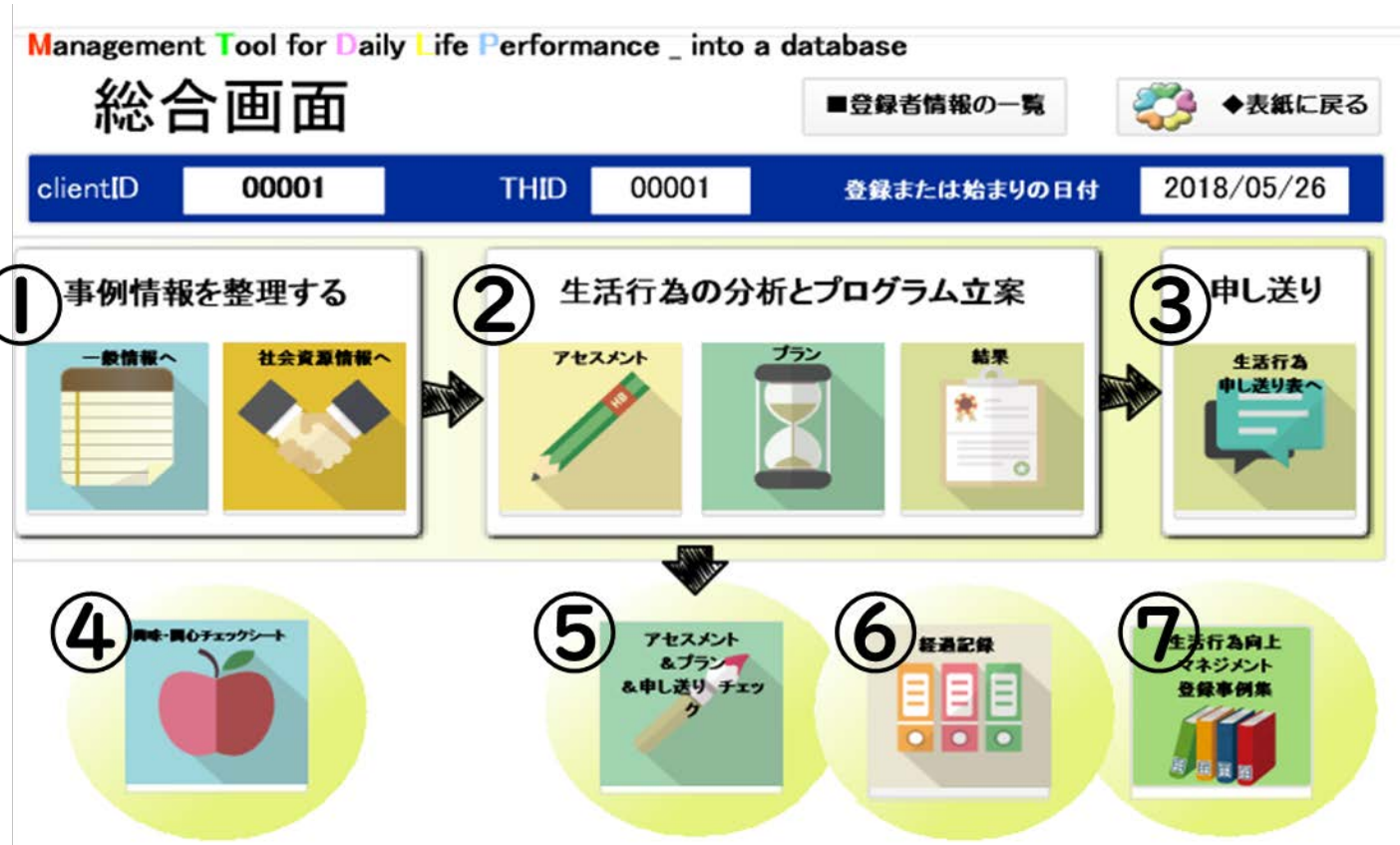
担当作業療法士	Client ID	登録日	個別総合画面	へ
00001	<b>00001</b>	2018/05/26 10:01:49	総合画面へ	入力確認 説明書
00001	<b>0003</b>	2018/07/30 10:51:49	総合画面へ	入力確認



クライアントの番号で特定し、各マネジメントシートを管理する「総合画面」へ移動する



# 7. 総合画面



- MTDLPの各シート（①②③④）をデータベース化
- MTDLPの実践における自己評価と経過の入力画面を追加（⑤⑥）
- 事例報告登録システムにおける合格事例を参照（⑦）

# 8. MTDLPアプリケーションの利点①

## ～ポップアップボタンの紹介～

・様々な箇所にこのようなボタンが配置されています

生活行為目標 (聞き取り表から転記)	<input type="text"/>
-----------------------	----------------------

アセスメント項目	機能・構造の分析 (精神機能・神経筋骨格・)
生活行為を妨げている要因 (ICFコードを併記)	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
現状能力	<input type="text"/> <input type="text"/>

### 生活行為アセスメント演習シート

生活行為目標 (聞き取り表から転記)	<input type="text"/>	合意した目標 (聞き取り表へ)	<input type="text"/>
-----------------------	----------------------	--------------------	----------------------

#### 生活行為の目標 インテークのポイント

- 生活行為の目標は、対象者の生活歴（個人因子）を反映したものとなるようにします。
- 生活行為の目標を、達成レベルまで踏まえて具体的に記載するようにします。
- 対象者に戸惑いがあるような場合には、「本当にしたい生活行為」を聞き取れるように質問を工夫します（元気になったら何がしたいと思いますか？等）。
- キーパーソンは誰か、またキーパーソンが対象者に期待する生活行為の目標を記載するようにします。

(ICFコードを併記)

・事例報告作成の手引きから、ポイントを抜粋して記載してありますので、参考にしてください

# 9. MTDLPアプリケーションの利点②

## ～ドロップダウンリスト～

アセスメント項目	心身機能・構造の分析 (精神機能,痛み・感覚,神経筋骨格・運動)	
生活行為を妨げている要因 (ICFコードを併記)	b710	片麻痺(BRS )
	b220	筋力低下
	b230	麻痺が軽度
	b240	筋力低下
	b260	麻痺
	b230	非麻痺側の筋力が良好



片麻痺(BRS )

運動麻痺(BRS )

随意運動の障害

感覚障害がある

表在感覚障害がある

深部感覚障害がある

筋力低下がある

関節可動域制限がある

排尿障害がある

運動耐容能の低下がある

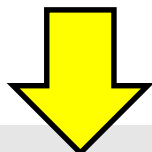
- ・一部のフィールドはリスト形式になっています
- ・リストの一番下には、「編集」という項目があります  
「編集」から新たな項目を追加や削除することができます
- ・領域等に合わせた項目を追加することで、利便性が高まっています

例「片麻痺 (BRS )」「を運ぶことが困難」「に段差がある」というように、一部項目に空白を設けています。任意に編集が可能です

# 10. MTDLPアプリケーションの利点③

## ～シートの協働～

タブを押すとシートが移動します



生活行為アセスメント演習シート

生活行為課題分析シート

	アセスメント項目	現状能力	予後予測		課題重要性 (数字で記載)
			このまま推移	介入後	
基本動作	起き上がり				
	立位保持				
	床からの立ち上がり				
	床の物を拾う				
ADL	食事				
	ベッド間の移乗				
	整容				
	トイレ動作				
	入浴				
	平地歩行(車椅子駆動)				
	階段昇降				
	更衣				
	排便コントロール				
	排尿コントロール				
	服薬管理				
	食事の用意				
	食事の片付け				

生活行為アセスメント演習シート

生活行為課題分析シート

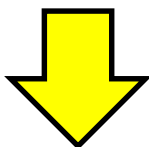
	アセスメント項目	現状能力	このまま推移
	立位保持	自立	
	床からの立ち上がり	見守り	
	床の物を拾う	一部介助	
ADL	食事	全介助	
	ベッド間の移乗	未把握	
	整容		
	トイレ動作		
	入浴		
	平地歩行(車椅子駆動)		

それぞれの項目はリスト形式になっています

# 10. MTDLPアプリケーションの利点④

## ～ICFの参照～

- e260 歩行補助具が不適当
  - e315 家族や親族などからの支援が得られない
  - e330 自宅前が不整地である
  - e325 週2回通所
  - e345 銀行預金自己管理
- 
- e350 スーパーが近所
  - e360 通所施設が近い
  - e415 スーパーが近所
  - e425 通所施設が近い



画面上で、生活機能（ICFコード）を整理

活動と参加
活動と参加は共通のリストとなっており、仮としてd (domain) がついています。本来は活動に該当する場合はa、参加に該当する場合はpを頭文字につけて記載する必要があります。
アセスメントへ戻る

学習と知識の応用

一般的な課題と要求・コミュニケーション

運動・移動

セルフケア・家庭生活

対人関係

主要な生活領域

コミュニティライフ・社会生活・市民生活

**セルフケア**

**d510** 自分の身体を洗うこと：清浄や乾燥のための適切な用具や手段を用い、水を使って、全身や身体の一部を洗って拭き乾かすこと。例えば、入浴すること、シャワーを浴びること、手や足、顔、髪を洗うこと、タオルで拭き乾かすこと。

**d520** 身体各部の手入れ：肌や顔、歯、頭皮、爪、陰部などの身体部位に対して、洗って乾かすこと以上の手入れをすること

**d530** 排泄：排泄（生理、排尿、排便）を計画し、遂行するとともに、その後清潔にすること。

**d540** 更衣：社会的状況と気候条件に合わせて、順序だった衣服と履き物の着脱を手際よく行うこと。例えば、シャツ、スカート、ブラウス、ズボン、下着、サリー、和服、タイツ、帽子、手袋、コート、靴、ブーツ、サンダル、スリッパなどの着脱と調節。

**d550** 食べること：提供された食べ物を手際よく口に運び、文化的に許容される方法で食べる。例えば、食べ物を細かく切る、砕く、瓶や缶を開ける、はしやフォークなどを使う、食事をとる、会食をする、正餐をとること。

**d560** 飲むこと：文化的に許容される方法で、飲み物の容器を取り、口に運び、飲むこと。飲み物を混ぜる、かきまぜる、注ぐ、瓶や缶を開ける、ストローを使って飲む、蛇口や泉などの流水から飲む、母乳を飲むこと。

**d570** 健康に注意すること：身体的快適性や健康および身体的・精神的な安寧を確保すること。例えば、バランスのとれた食事をとること。適切なレベルの身体的活動を維持すること。適切な温度を保持すること。健康を害するものを避けること。コンドームの使用などによる安全な性生活を行うこと。予防接種を受けること。定期的な健康診断を受けること

# ⅠⅠ.MTDLPアプリケーションの利点⑤ ～サブシートの塔載～

興味・関心チェックシート

**興味・関心チェックシート**

氏名：\_\_\_\_\_ 年齢：\_\_\_\_歳 性別（男・女） 記入日：H\_\_\_\_年\_\_月\_\_日

貴の生活行為について、現在しているものには「している」の列に、現在していないがしてみたいものには「してみたい」の列に、する・しない、できる・できないにかかわらず、興味があるものには「興味がある」の列に○を付けてください、どれも該当しないものは「している」の列に×をつけてください、リスト以外の生活行為に興味あるものがあれば、空欄を利用して記載してください。

生活行為	している	してみたい	興味がある		している	してみたい	興味がある
自分でトイレへ行く	○	○	○	生涯学習・歴史	○	○	○
一人でお風呂に入る	○	○	○	読書	○	○	○
自分で駅を渡る	○	○	○	俳句	○	○	○
自分で食べる	○	○	○	書道・習字	○	○	○
困窮きをする	○	○	○	絵を描く・絵手紙	○	○	○
専らしなみを好きなときに	○	○	○	パソコン・ウェブ	○	○	○
掃除・整理整頓	○	○	○	映画・観劇・音楽会	○	○	○
料理を作る	○	○	○	お茶・お花	○	○	○
買い物	○	○	○	歌を歌う・カラオケ	○	○	○
家や庭の手入れ・世話	○	○	○	音楽を聴く・楽器演奏	○	○	○
洗濯・洗濯物たたみ	○	○	○	将棋・囲碁・ゲーム	○	○	○
自転車・車の運転	○	○	○	体操・運動	○	○	○
電車・バスでの外出	○	○	○	散歩	○	○	○
孫・子供の世話	○	○	○	ゴルフ・グランドゴルフ	○	○	○
動物の世話	○	○	○	水泳・テニスなどのスポーツ	○	○	○
友達とおしゃべり・遊ぶ	○	○	○	ダンス・踊り	○	○	○
家族・親戚との団らん	○	○	○	野球・相撲観戦	○	○	○
デート・異性との交流	○	○	○	競馬・競輪・競艇・パチンコ	○	○	○
図書館に行く	○	○	○	雑み物	○	○	○
ボランティア	○	○	○	針仕事	○	○	○
地域活動	○	○	○	雑仕事	○	○	○
町内会・老人クラブ	○	○	○	着金を伴う仕事	○	○	○
お祭り・宗教活動	○	○	○	旅行・温泉	○	○	○

生活行為向上マネジメント

本シートの著作権（著作人権、著作財産権）は一般社団法人日本作業療法士協会に帰属しており、本シートの全部又は一部の複製使用、複製・複製、転載、記録媒体への入力、内容の変更等は著作権上の例外を除いて禁じます。

生活行為申し送り表

**生活行為申し送り表**

氏名：\_\_\_\_\_ 年齢：\_\_\_\_歳 性別（男・女） 作成日：H\_\_\_\_年\_\_月\_\_日

今後も障害や生活行為を維持するため、下記のとおり指導いたしました。引き続き継続できるよう日常生活のなかでの支援をお願いいたします。

担当者：\_\_\_\_\_

【元気なときの生活状態】 【支援のきっかけ】 【ご本人のできるようになりたいこと・困っていること】

□ 徐々に生活圏が広がり  
□ 見守り観察など  
□ その他

【現在の生活状況】（本人の能力を記載する） ※該当箇所を○をつける

ADL/IADL項目	している	してみたい	興味がある	特記事項	【リハビリテーションにおける作業療法の目的と内容】
食べる・飲む	○	○	○		
移動	○	○	○		
寝る	○	○	○		
トイレ行為	○	○	○		
入浴	○	○	○		
草地歩行	○	○	○		
階段昇降	○	○	○		
更衣	○	○	○		
屋内移動	○	○	○		
屋外移動	○	○	○		
交通機関利用	○	○	○		
買い物	○	○	○		
食事の準備	○	○	○		
掃除	○	○	○		
洗濯	○	○	○		
整理・ゴミ出し	○	○	○		
お金の管理	○	○	○		
電話をかける	○	○	○		
読書観覧	○	○	○		

【アセスメント等と対応すべき課題】

【継続するこい支援内容またはプログラム】

本シートの著作権（著作人権、著作財産権）は一般社団法人日本作業療法士協会に帰属しており、本シートの全部又は一部の複製使用、複製・複製、転載、記録媒体への入力、内容の変更等は著作権上の例外を除いて禁じます。

# 1 2. おわり

Management Tool for Daily Life Performance \_ into a database について

目的：各マネジメントシートの書式を円滑に記入することを目的にしております

特徴：

- ①使用者の番号と対象者を区別する番号のみが登録されます
- ②OSはWindowsとなり,MCでは起動することができません
- ③印刷は、[興味関心チェックシート],「生活行為アセスメント」、  
「生活行為マネジメントシート」,「生活行為申し送り表」に対応しております
- ④データの取り出しは、Excelファイルで出力できます

問い合わせ先については、下記アドレスまでご連絡ください

E-mail : [mtdlp-master@jaot.or.jp](mailto:mtdlp-master@jaot.or.jp)

※今後、バージョンアップ作業を予定しております。ご感想やご意見等をお寄せ下さい